



緑を育み県土を守る  
林業公社

# 林業公社だより

経営改善推進  
状況のご報告

■ 契約変更についてのご理解とお願い

■ 新しい取組

■ 林業行政から見た林業公社の経営問題

■ 公社材の販売が始まりました

## 経営改善推進状況のご報告

創刊号でお伝えした「林業公社第6次経営計画」に基づき、役職員一丸となり経営の改善を積極的に推進しているところであります。

現在までの推進状況は次のとおりです。

### 管理費の削減

- ・職員給与等の大幅な引き下げを平成17年4月に実施しました。
- ・早期退職者の募集を実施し、7名の職員が募集に応じ退職しました。

### 農林漁業金融公庫資金の低利借り換え

- ・対象借入金37億円を低利資金へ借り換え、改善効果は約12億円です。

### 分収契約の変更

契約期間及び分収割合の変更について、公社職員が直接ご説明に伺い、皆様にご理解ご協力いただいたこれまでの実績はつぎのとおりです。

平成18年2月10日現在推進状況

公社別	契約者数(人)	契約件数(件)	管理面積(ha)	完了件数(件)		完了面積 分収割合(ha)	達成率(分収割合%)	
				期間	分収割合		件数	面積
対馬	780	1,099	7,203	54	29	850	2.6	11.8
長崎	1,169	1,485	7,010	121	116	1,395	7.8	19.9
両公社計	1,949	2,584	14,213	175	145	2,245	5.6	15.8

### 伐採・販売対策

- ・長伐期化への施業方針の転換により伐採計画の見直しを進めています。
- ・木材市場への素材出荷奨励金制度を確立し販売経費を節減しました。
- ・付加価値を付けて木材を販売するための、林業公社材証明制度及び「木づかいネットワーク」への加入促進をしております。
- ・公社材を家づくりに利用していただく「ながさ木の家」づくりグループへ加入しました。

### 県・市町借入金対策

- ・経営の長期化に伴い県・市町借入金の償還期限を20年間延長して頂きました。(一部推進中)

### 国への要望活動

県を通じて下記のとおり要望しました。

- ・公社経営安定化のために地方自治体が実施する施策についての新たな財政支援
- ・農林漁業金融公庫の借換制度創設を含めた利息軽減策の実施
- ・森林の持つ多面的機能の発揮に配慮した長伐期施業への取組に対する支援

## 契約変更についてのご理解とお願い

林業公社は、設立以来、森林の造成等を通じ、森林の有する公益的機能の高度発揮はもとより、山村地域の振興に貢献してきました。

現在の分収契約では、契約期間満了時に皆伐して、その跡地を土地所有者に返地することになっています。

現下の木材価格の現状では、伐採後の土地所有者による再造林は期待しがたい状況であり、そのまま放置されると森林の多面的な機能が損なわれる恐れがあります。

そのため皆伐を前提としていた施業を、森林の持つ多面的機能が持続的に発揮できるような長伐期施業に見直します。

これにより伐採時期を延ばし、その間強度の間伐を繰り返すことにより、自然植生の回復を促進し、再造林をしなくとも森林機能を損なわないような施業を行います。

また、大径材の生産も可能となります。反面、長期の管理費と自然災害への備えが必要となります。

このような経営を安定的に行うためには、分収率の変更等、土地所有者の皆様のご協力を踏まえた公社自身の経営改善が不可欠であります。

そのため皆様にご理解をいただかなければなりません。今後早急に説明に伺わせていただきたいと存じますので、宜しくお願い申し上げます。

## 新しい取組

### 契約変更業務専門班の新設

施業方針転換の説明とご協力をお願いを早急に進める業務を重点的に行います。

## 林業行政から見た林業公社の経営問題

……………長崎県林務課長 上田裕司

森林は、水資源の確保や山地災害の防止など県民生活の土台を築く上でかけがえのない役割を果たしており、地球環境を保全する上でも大きく期待されています。

一方、最近の森林・林業を取り巻く環境は、木材価格の著しい下落による採算性の悪化、林業生産活動の停滞、森林整備の遅れなど多くの課題を抱えています。

今後順次主伐時期を迎える本県林業公社も、これらの課題に直面しており、既に長伐期の方向性を取り入れ、管理費・分収率の見直しを中心とする経営改善策を進めているところです。

県としても、公社の自助努力を前提として、これまで197億円の無利子貸付支援を行ってきたほか、路網の整備、機械化の促進等による木材生産の低コスト化や県産材の需要拡大対策に取り組んでいるところです。

また、根本的な林業課題への対応については、引き続き国の支援を要望してまいりたいと考えています。

こうした取り組みを安定的に進めていくためには、土地所有者の皆様のご理解が重要です。

長年培ってきた公社林を守り活かしていくため、皆様の格段のご協力を賜りますよう、よろしくごお願い申し上げます。

## 公社材の販売が始まりました

全国で最初に設立した対馬公社では、主伐による造林木の販売を始めました。木材業界の低迷がつづくなか、多数の購入予定者の参加を呼びかけ、競争原理による有利な販売を行い、少しでも多くの収益があがるよう努めています。



木材市場での公社材の競り売り風景



作業道を利用したの公社材の集積・運搬



均一に成長した林業公社材の断面

### 編集後記

平成17年7月に「林業公社だより」を創刊して早いもので半年以上が過ぎました。創刊号では、公社の経営改善の取組と新たな方向性を掲載しました。編集経験がないなかでいかに公社の現状を情報として伝えられるか苦心しました。第2号では経営改善の推進状況を中心に発信しました。林材業界では暗い話題が多いなか、次回は何か一つでも明るい話題を届けたいと思いますので皆様の、発展的なアイデア並びにご意見ご要望をお寄せください。